

ひまわり日記

No. 57

H29.8.2

船橋夏見特別支援学校
校長 小室 いづみ



7月27日(木)



本日は、午前中にお休みをもらって千葉県立美術館に、生徒の作品展を見に行ってきました。今回は、『THE フィギュア IN チバ』展も同時開催しており何となく楽しそうです。館内にはフィギュア展に出品している海洋堂のガチャガチャもたくさん並んでいました。それを横目に今回も本校生徒の作品を探しました。ありました！人目を惹く大きな書作品、中学部 Y さんの作品です。そして高等部の夏を告げる絵手紙や陶芸作品。本校の隣には姉妹校の県立船橋特別支援学校の小学部の可愛いアジサイや団扇の作品がカラフルに並んでいました。それぞれ学校ごとにステキな工夫された作品が並んでいます。



今年、一週間の期間中に1000人を超える来館者がいたとの事！多くの人に見てもらえる機会となりました。フィギュア展のお陰もあるので、良かったです。さて、全国展へ選ばれる作品はどれでしょうか？楽しみです。

学校へ戻ると、午後は国立特別支援教育総合研究所から2名の研究員の方が、来校されました。本校が、昨年から取り組んでいる高校通級に向けた研究について知りたいとの事でした。昨年のアンケート結果や今年のアンケート、高校で行っている教育相談の様子などを確認して行きました。まだ、どの県も準備のために悩ましいのが実情のようです。

* // // // // // * // // // // // * // // // // // *

7月31日(月) 本日は、校長は出張です。校内では他校の先生を対象としたスイッチ研修や通級指導合同集会、緊急シュミレーション訓練が行われていました。事務室では会計検査も行われていて、校長不在でも校内はそれぞれ忙しい一日でした。誰にも写真を依頼していなかったので、様子が伝えられない残念な日となってしまいました。

* // // // // // * // // // // // * // // // // // *

8月1日(火)



本日より8月。やや涼しい日があったりしますが、もう夏本番です。昨日も行われたスイッチ作り研修！本校の和田教諭の得意分野です。昨日は27名、本日は33名が申し込んでいる講座です。自前の工具も持ち込んで、身銭も切って参加者のために頑張る姿は、さすがです。生徒が手を触れるだけで音声が流れたり、ランプがついたりする自作のスイッチ作りは特別支援の肢体不自由がある生徒にとって必要なものです。生徒のために何が出来るか…をいつも大切にする特別支援学校の先生方ならではの教材作りだと思います。



校内ではあちこちの除草作業に追われ、技能員さんや介助員さんが大活躍です。今年は7月に咲き始めた夏見ひまわりプロジェクトも、もう終盤…種がびっしりとつき始めました。グラウンドでは市立船橋高校の女子サッカー部が円陣を組んでミーティング中でした。曇り空を見上げながら、本校の生徒たちは今頃何をしているんだろうと思いました。皆、元気かな？

